

『日本公共政策学会年報』1998

目 次

年報編集委員長・辻中 豊 / 編集委員・廣瀬 克哉 ppsaj/1998-01-001
CD-ROM 版の年報刊行に当たって

特集：「公共政策研究は何を目指すか」

基調講演

- 松下 圭一 ppsaj/1998-01-002
日本における公共政策の研究
- 土井 たか子 ppsaj/1998-01-003
議員立法と国会改革
- 大熊由紀子 ppsaj/1998-01-004
老いて美しく輝くために

基調論文

- 藪野 祐三 ppsaj/1998-01-005
ローカル・イニシアティブの創造 イデオロギーとしての公共政策
- 足立 幸男 ppsaj/1998-01-006
公共政策における非効率性
なぜ非効率は生まれるのか、その克服のために何をなすべきか

第一回学術研究大会企画論文

- セッション1「環境思想と環境政策」
- 岸本 哲也 ppsaj/1998-01-007
まとめ
- 宇佐美 誠 ppsaj/1998-01-008
配慮の射程 環境倫理学と公共政策

セッション2「法制度化と環境政策」

- 坪郷 實 ppsaj/1998-01-009
まとめ

Public Policy Studies Association Japan
Table of Contents 1998

- 阿部 昌樹 ppsaj/1998-01-010
環境行政における中央 - 地方関係 公害防止協定を手掛かりに
- 住沢 博紀 ppsaj/1998-01-011
法制度化における政党の役割
- 田中 充 ppsaj/1998-01-012
自治体の環境政策法務 自治体環境行政の現場から(要約)
- シンポジウム A「環境政策の総合化をめくって」
- 坪郷 實 ppsaj/1998-01-013
まとめ
- 宇沢 弘文 ppsaj/1998-01-014
二つの国際環境会議
- 長谷川 公一 ppsaj/1998-01-015
環境問題を可視化させる 環境社会学と環境政策
- 田中 紀夫 ppsaj/1998-01-016
環境保全とエネルギー政策
- 南川 秀樹 ppsaj/1998-01-017
日本の公害経験と国際協力
- セッション 3「分権化と地方改革」
- 佐々木 信夫 ppsaj/1998-01-018
分権化と地方改革をめくって
- 山谷 清志 ppsaj/1998-01-019
自治体制度改革と政策システム
- 北川 正恭 ppsaj/1998-01-020
三重県における行政改革
- セッション 4「政府改革の視点」
- 辻山 幸宣 ppsaj/1998-01-021
まとめ
- 飯尾 潤 ppsaj/1998-01-022
日本における官民関係の位相
- 澤井 勝 ppsaj/1998-01-023
中央 地方の政府間関係をめぐる政策課題
わが国の垂直的税制調和に関連して

Public Policy Studies Association Japan
Table of Contents 1998

- 岡本 哲和 ppsaj/1998-01-024
 日本における情報管理政策 現状と課題
- シンポジウム B「国政改革の理念と制度化」
- 中野 実 ppsaj/1998-01-025
 まとめ
- 田中 秀征 ppsaj/1998-01-026
 国政改革の理念
- 加茂 利男 ppsaj/1998-01-027
 制度選択としての「国政改革」 グローバル化時代の適応進化政策
- 五十嵐 敬喜 ppsaj/1998-01-028
 政策形成プロセスの再検討
- 阿部 泰隆 ppsaj/1998-01-029
 行政の法システムの改革

投稿論文

- 窪田 好男 ppsaj/1998-01-030
 三重県の事務事業評価システム
 評価を通じた政策改善、あるいは評価システムによる「行政改革」
- 佐野 亘 ppsaj/1998-01-031
 「政治」と「市場」 経済学的政治制度設計論の射程
- 風間 規男 ppsaj/1998-01-032
 日本の防災政策 政策ネットワークの失敗構造
- 増山 幹高 ppsaj/1998-01-033
 介護保険の政治学 政策理念の対立と収斂
- 永松 伸吾 ppsaj/1998-01-034
 命令型規制と交渉型規制 ゲーム論による規制効率の比較分析
- 中野 昌宏 ppsaj/1998-01-035
 多文化主義の批判的検討 公共的対話空間の理論的前提としての

研究ノート

- 秋吉 貴雄 ppsaj/1998-01-036
 政策過程におけるプログラム評価 GAO を事例にして
- 土屋 大洋 ppsaj/1998/01-037
 政府関連ホームページの増加と内容に関する調査

Public Policy Studies Association Japan
Table of Contents 1998

『公共政策：日本公共政策学会年報』投稿規定

『公共政策：日本公共政策学会年報』執筆要項

年報編集委員会委員

『日本公共政策学会会報』

No.1 1996年7月

No.2 1997年2月

No.3 1997年7月

No.4 1998年2月

日本公共政策学会 会則・規則

日本公共政策学会設立趣意

日本公共政策学会会則

日本公共政策学会会費規定

団体会員の特例に関する規定

Public Policy Studies Association Japan
Table of Contents 1998

編集を終えて

CD-ROMで出版される学会年報は、社会科学系の学会としてはおそらく初の試みである。その意義、編集方針等については刊行の辞を参照していただきたい。ひとことでいえば、「手作りの最先端の、そして、長い目で見て情報化のメリットが発揮できる年報」をめざして作業を重ねてきたわけだが、実際に作業を終えての率直な感想は、いかに我々編集委員が、出版という活動の川上の部分しか知らなかったか、ということである。

紙で出される学会誌などの場合は、多くの場合プロの編集者の支援を受ける。ところが、この年報の場合には、編集者レベルの仕事にとどまらず、組版に相当する作業までを編集委員会の手によって行うことになった。しかも、紙幅という物理的な制約を受けないため、内容は質だけでなく量も高水準。1998年6月の学会で会員の皆さんのお手元に届かなければならない、という時間の制約は動かない。ほんとうにぎりぎりになってしまったが、とにかく間に合いそうだという点は、ほっとしている。とはいえ、当初構想していた項目のうち、十分に実現できずに終わった点も多い。

もっとも、この年報は蓄積型の年報として構想されている。今年実現できなかった点も、来年以降の年報の中でいずれは遡及的に実現することも不可能ではないのが良いところである。いずれにせよ、編集委員のみなさん、お手伝いしてくれたアルバイト諸氏、お疲れさまでした。また、素晴らしいデザインと、実用的なアドバイスをくださった東京堀田制作集団の堀田敦士さんには、この場を借りてお礼申し上げます。来年の編集委員の皆さん、どうぞよろしく願います。(K)

『公共政策』 日本公共政策学会年報 1998

1998年6月12日発行

発行 日本公共政策学会

日本公共政策学会年報編集委員会事務局

〒305 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学社会科学系 辻中豊研究室気付け

電話 0298-53-6289 FAX0298-53-6611

E-Mail tusjinak@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

編集

日本公共政策学会年報編集委員会

表紙デザイン

東京堀田制作集団

ISBN 4-9980660-1-3